

I. 感染対策チーム（ICT）



【Clean handキャンペーン】

2010年度より毎年ICTを中心に医師、看護師、薬剤師、検査技師（細菌、放射線科）、リハビリテーションセンター、栄養部、事務職などによる約30名のプロジェクトチームを結成し、多職種による全病的なキャンペーンの運営にあたっている。「蛍光塗料を用いた流水と石けんによる手洗い」「アルコール手指消毒」を隔年毎に実施しており、2023年度からは手指衛生のみならず標準予防策を伝える機会として、キャンペーンを開催している。

参加者は2,301名であり、全スタッフの92.2%の参加が得られた。職種別では常勤医師 544/651名 (83.6%) (教授88.1%、准教授・講師 86.5%、助教・病院助手 77.3%、レジデント・研修医 88.2%)、看護師 1,102/1,162名 (94.8%)、その他のメディカルスタッフ 384/395名 (97.2%)、事務職 271/288名 (94.1%) だった (I-1)。

【環境ラウンド】

2011年度より看護部感染防止委員会によるラウンドを開始し（それまでは自主チェック）、2012年9月から感染制御部によるラウンド、2016年4月からICTによる多職種ラウンドを開始した。ラウンドは①病棟部門は1部署あたり1回/月、②侵襲的な手術・検査を行う外来、中央部門は1部署あたり1回/2か月、①②に該当しない部署は1回/年、定期的に行い、2023年度の年間総ラウンド回数は病棟部門48回のべ312部署、中央部門36回79部署、それ以外の部署は19回32部署であった。

【耐性菌の遺伝子解析】

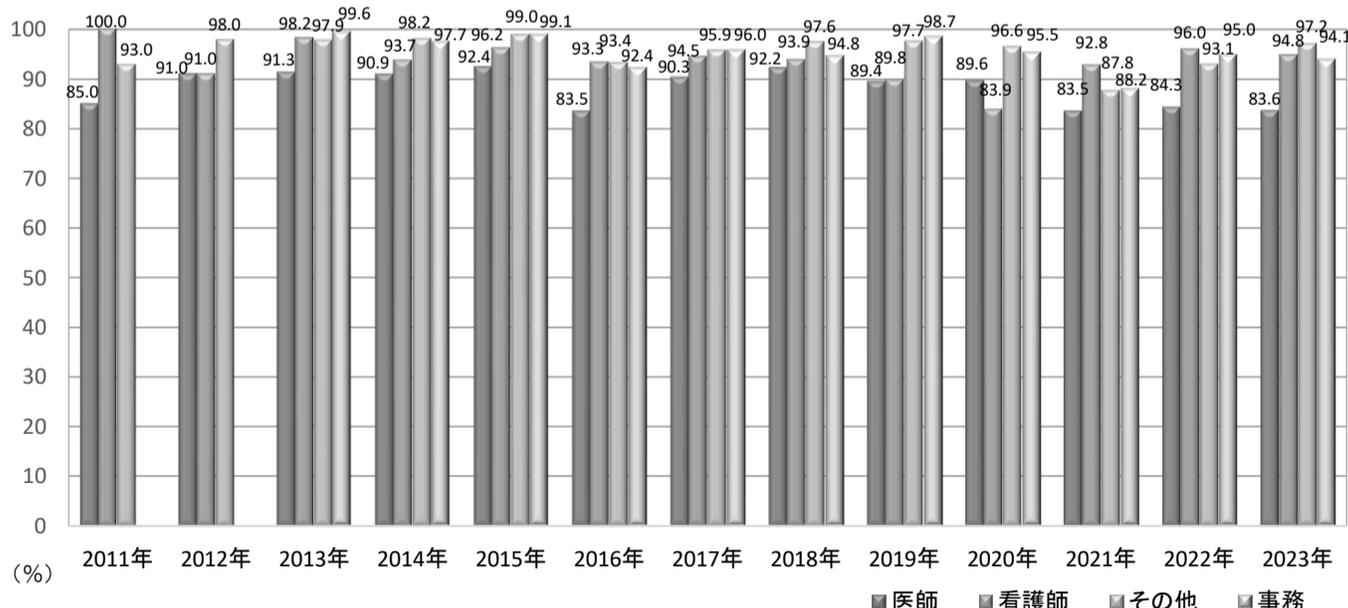
院内においてMRSA等によるアウトブレイクが疑われた際、POT法やrep-PCR法などで（遺伝子型を調べ）分子疫学解析を行うことにより、同一菌による院内感染かどうかの指標としている。2023年からは新規に検出されたMRSA全件に対してPOT法を行い、院内での伝播状況の早期把握に努めている。

2023年度はPOT法314件（MRSA 300件、大腸菌 14件）、rep-PCR法32件（アシネトバクター：26件、肺炎桿菌：6件）行った。

チーム医療の様子 -Clean hand キャンペーン-



I-1 Clean handキャンペーン職種別参加者割合の推移



全体参加率	2018年	2019年	2020年	2021年	2022年	2023年
	2,514 (94%)	2,347 (92%)	2,392 (88%)	2,518 (84.7%)	2,398 (92.2%)	2,301 (92.2%)